

ニュースレター 2016年 春号 目次

特集①：平成28年4月1日から

首都圏の高速道路料金が変わります。

…P.1～

高速道路が、ますます便利に使いやすく！

…P.2

東北道（岩槻IC）～新湘南バイパス（藤沢IC）
中央道（八王子IC）～東北道（久喜IC）の経路別料金例
圏央道 ETC2.0割引について

各路線の料金について

…P.3

神奈川県エリア：横浜新道、第三京浜道路
千葉県エリア：京葉道路、千葉東金道路

特集②：東北道（下り線）

…P.4～

岩舟JCT～栃木ICの登坂車線の運用を開始。

…P.5

第4回 高速道路の豆知識～落下物編～
編集後記

平成28年4月1日午前0時から
首都圏の高速道路料金が変わります

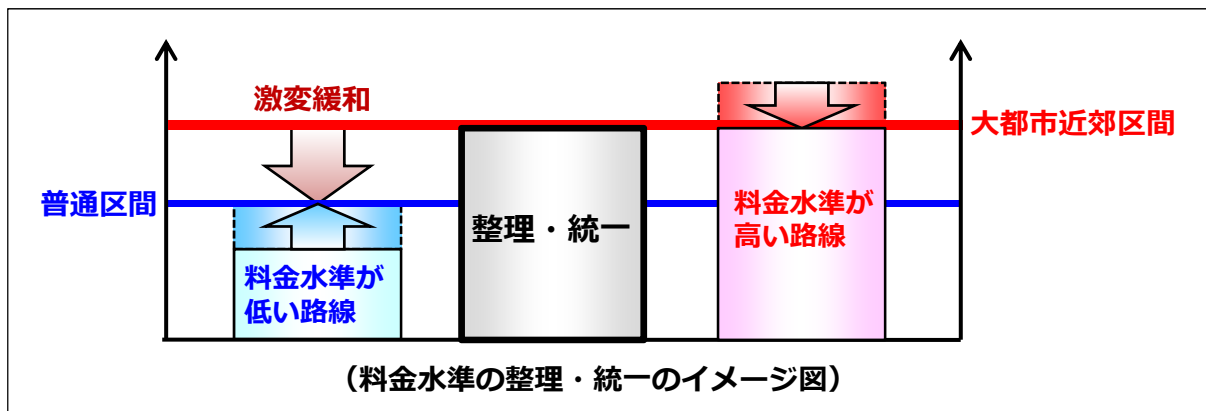


特集①：平成28年4月1日から首都圏の高速道路料金が変わります。

これまで整備の経緯の違い等から料金水準や車種区分等が異なる首都圏（圏央道とその内側）の料金体系について、三環状道路の整備の進展を踏まえ、対距離制を基本とした利用重視の料金体系へ移行します。

①料金水準の整理・統一

路線ごとに異なる料金水準を、**現行の高速自動車国道の大都市近郊区間の水準に統一**します。但し、当面、激変緩和措置として、首都高速などは物流への影響や非ETC車の負担増などを考慮し、上限料金などの設定や第三京浜道路や横浜新道など、**現在の料金水準が低い路線は、高速自動車国道の普通区間を目安に料金水準を設定**します。



②車種区分・車種比率の整理・統一

高速道路会社の管理主体を超えたシンプルでシームレスな料金体系とするため、**車種区分及び車種間比率（普通車1.0）を5車種区分に整理・統一**します。

3月31日まで	対象路線	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大型車
2車種	首都高速		1.0		2.0	
3車種	京葉道路 千葉東金道路 新湘南バイパス		1.0		1.5	注1 3.5
5車種	その他	0.8	1.0	1.2	1.65	2.75

4月1日から	対象路線	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大型車
注2 5車種	全路線	0.8	1.0	1.2	1.65	2.75

注1：新湘南バイパスについては、「3.8」

注2：首都高速については、段階的に実施することとし、平成32年度までは、中型車「1.07」、特大型車「2.14」とする。

③起終点を基本とした継ぎ目のない料金の実現

都心部の渋滞等の課題に対して、お客さまに圏央道や外環道の利用を促すために、ETC車の場合、出発地から目的地までどのルートをご利用いただいても、基本的には起終点間の最短の料金となります。

(当面は料金体系の整理・統一における激変緩和措置を考慮し、最安値となります。)

※ただし、都心部(首都高速)を経由した料金の方が高い場合には料金は引下げません。

高速道路が、ますます便利に使いやすく！

これからは、**どのルートを通っても料金は変わりません。**

たとえば、埼玉方面(東北道・岩槻IC)から湘南・江ノ島方面(新湘南バイパス・藤沢IC)へのドライブの選択肢が広がり、また、八王子方面(中央道・八王子IC)から埼玉方面(東北道・久喜IC)のルートの選択が広がっています。最適なルートを選択することで快適なドライブが可能になります！



(注) 新料金については、4月以降の料金設定に基づき計算。なお、外環道の料金については、圏央道の概成時(境古河～つくば中央の開通時)に合わせて導入される料金に基づき計算。

圏央道 ETC2.0割引について

圏央道については、**ETC2.0車載器の搭載車を対象とした割引を実施**します。

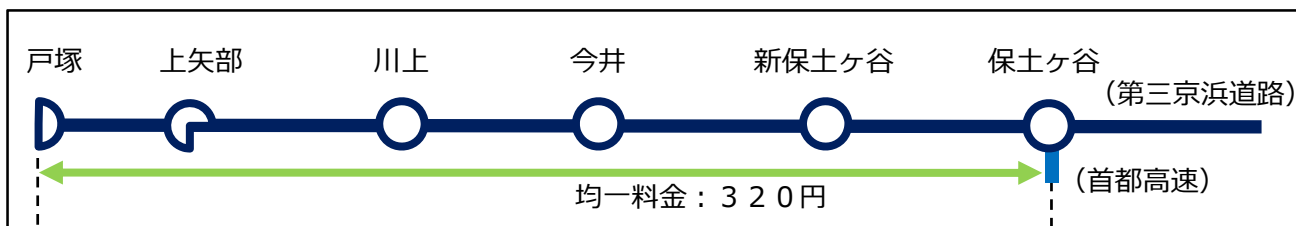
- ・圏央道利用分について約2割引(普通区間の料金水準の24.6円/kmとします。)
- ・圏央道利用分を大口・多頻度割引の「割引対象一般有料道路」の範囲に加えます。

入間⇄境古河(62.1km)		
現行	ETC・非ETC	ETC2.0
2,310円	2,140円 (▲170円)	1,810円 (▲500円)

※料金所の料金表示器やETC車載器などには、ETC2.0割引後の料金が表示されません。後日、カード会社などからの請求までに割引を適用します。

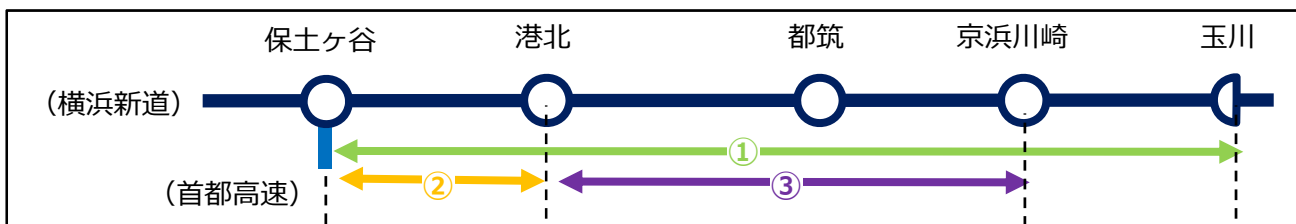
【横浜新道の料金について】

横浜新道の料金は、当面、激変緩和措置が適用となり、普通車は210円から**320円**となります。



【第三京浜道路の料金について】

第三京浜道路の料金は、当面、激変緩和措置が適用となり、普通車で保土ヶ谷から玉川まで全線利用した場合の料金は260円から**390円**となります。



① 保土ヶ谷⇄玉川 (16.4km)

現行	ETC・非ETC
260円	390円

② 保土ヶ谷⇄港北 (5.6km)

現行	ETC・非ETC
100円	130円

③ 港北⇄京浜川崎 (8.6km)

現行	ETC・非ETC
160円	200円

【京葉道路、千葉東金道路の料金について】

現在3車種区分である京葉道路と千葉東金道路の車種区分及び車種間比率が**5車種区分**になります。

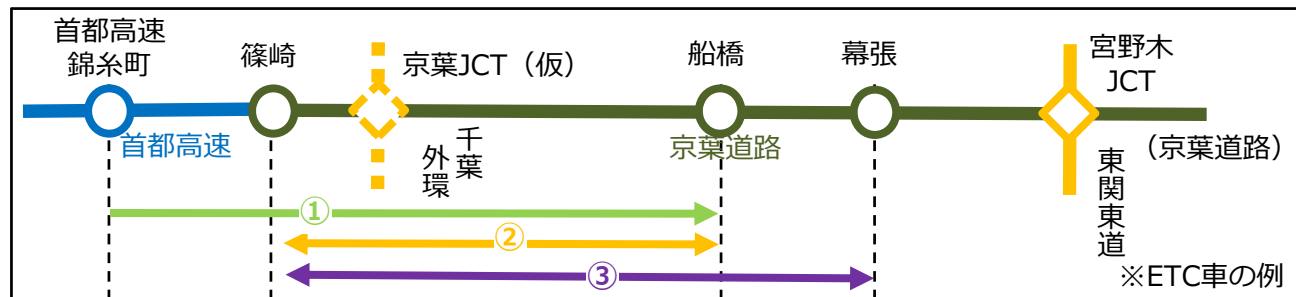
【料金例】京葉道路 穴川～貝塚

	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
現行		130		190	440
見直し後	100	130	150	210	340

【料金例】千葉東金道路 千葉東～東金

	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
現行		410		620	1,440
見直し後	320	410	490	670	1,110

京葉道路は、当面、激変緩和措置が適用となり、篠崎～船橋の料金は130円から**230円**となります。ただし、**ETC利用の場合、当面現行料金の据置き**となります。



① 錦糸町→船橋 (首都高速との連続利用)

現行	ETC・非ETC
640円	640円

② 篠崎⇄船橋 (地域内利用)

現行	非ETC
130円	230円

③ 篠崎⇄幕張 (地域内利用)

現行	非ETC
250円	350円

※ETC車の場合は、現行料金据置きとなります。

特集②：東北道（下り線）岩舟JCT～栃木ICの登坂車線の運用を開始。

延長5kmの登坂車線で、渋滞の解消を図る！

東北道は、路線延長が**日本一長い高速道路**です。
ゴールデンウィークやお盆などの連休では「帰省」、
秋の行楽シーズンには日光などへの「観光」のため、
多くのお客さまにご利用いただいております。
今回、渋滞解消の切り札として、平成25年10月から
2年5ヶ月の工事期間を経て3月18日より**NEXCO東日本**
管轄の最長となる約5kmの登坂車線の運用を開始しました。
工事を担当した宇都宮管理事務所 改良担当課長
岡村豊茂より「登坂車線の概要」について説明します。

【位置図】



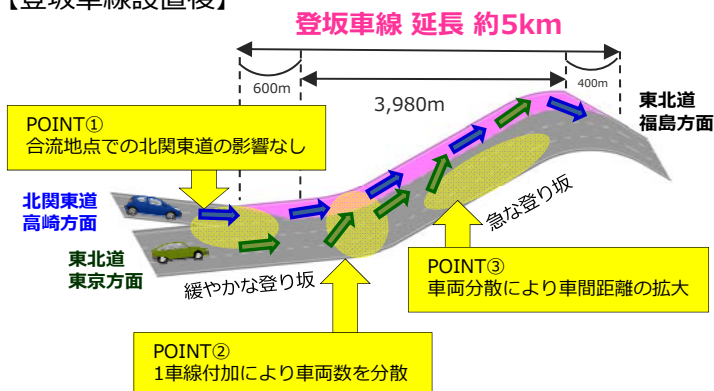
渋滞発生率が一番高い車線は「??車線」

高速道路で渋滞に遭遇した際、『この渋滞を抜けるには
追越車線が一番速い』と思われるお客さまが多いのではないのでしょうか。
意外かも知れませんが、**追越車線は最も渋滞の発生率が高い車線**です。
東北道下り線の岩舟JCT～栃木IC間では、渋滞が発生する直前の車線別の利用率は、追越車線が**50%**、
第二走行車線で**35%**、第一走行車線は**15%**となっており、渋滞は追越車線から徐々に発生する傾向にあります。
この区間は、登り坂による速度低下に加え、北関東道から合流する車の影響と、それを避けるための追越車線
側への車線変更による「車線利用の偏り」によって渋滞が発生しており、昨年のゴールデンウィークには、交通
事故も重なったこともあり全国ワースト1位の渋滞延長（最大渋滞長63.9km）を記録しました。

5kmの登坂車線新設の3つのメリット

【登坂車線設置後】

この渋滞対策として、岩舟JCTの北関東道高崎方面
から東北道下り線への合流車線を、現在の600mから
その先の登り坂の頂上を超えた付近まで、延長約5km
延伸し、「登坂車線」を新たに設けることで登り坂区間
を3車線から4車線に増設しました。この「登坂車線」
には**3つの効果やメリット**があります。



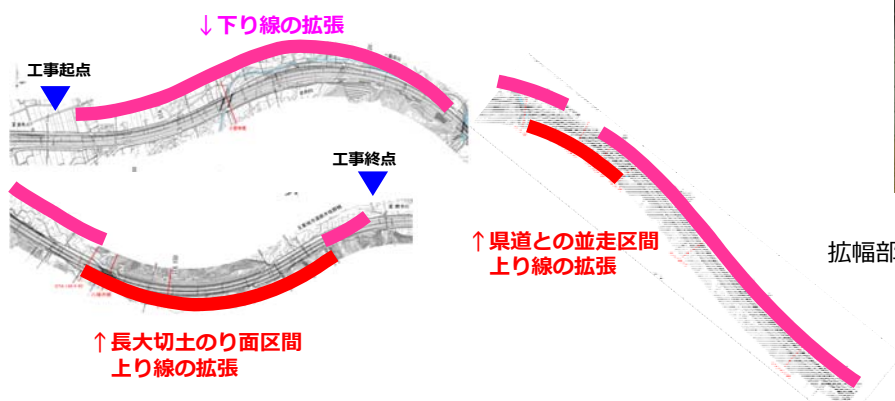
- ①北関東道からの流入車両に影響されことなく
東北道を走行でき、北関東道から合流もスムーズに。
- ②第一走行車線は勿論、走行する車線の選択肢が増加。
- ③車両分散で車間距離も広がるため、渋滞発生が軽減。

この区間での渋滞解消は、
東北道だけでなく北関東道をご利用のお客さまへの利便性向上も期待されます。

時間が限られているなか、現況3車線を残しつつ工事を実施

工事の実施にあたっては、お客さまへの影響を極力抑えることを考え、交通量の少ない時間帯を選定し工事を行なうなど、現況の3車線をなるべく確保しながら限られた時間の中で工事を実施しました。

この「登坂車線」の工事では、橋梁拡幅の箇所の一部用地買収にご協力いただきましたが、基本的に用地買収は行わず、**現状の用地内を最大限に活用**し、下り線を拡幅することで1車線を増設しました。なお、並走する県道を付け替えることや長大な本線斜面を切り直すといった、費用や工期が大規模になるような計画とはせず、車線を部分的に上り線へシフトさせながら段階的に工事を進めました。



← 拡幅部の施工

→ 拡幅部分の路面表示
引きなおし後



北関東道が全通開通して5周年を迎えました！

北関東道は、平成23年3月19日の太田桐生IC～佐野田沼IC間の延長18.6kmが開通し、群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市に至る延長約150km※1が全線開通してから、平成28年3月で5周年を迎えました。全線開通したことにより、一般道の利用に比べ移動時間が大幅に短縮され、**群馬県・茨城県・栃木県の3県のアクセス向上・地域連携による経済発展に寄与**しています。

宇都宮管理事務所では、全線開通5周年を記念した地域連携の取組みの一環として栃木県立栃木農業高校の生徒がデザイン・設計・施工した花壇を佐野SA(下り線)に整備し、「花と緑のやすらぎ ハイウェイガーデン®プロジェクト※2」を推進しております。この花壇は、3月23日に花の植え込みを行い完成しました。

※1 東水戸道路約10kmを含む。

※2 休憩施設園地等を利用しやすく、心地よい空間への転換を図るとともに、地域らしさの創出と地域との連携を目指した「ハイウェイガーデン®」を整備し、お客さまにさらなるやすらぎと癒しの空間を提供するために推進しているプロジェクトです。



↑3月23日花壇への植え込みの様子

(東北道 佐野SA下り線)

↓植え込みの完成後



東北道・北関東道をご利用のお客さまへひとこと

混雑時は、左側車線をご利用下さい！



東北道下り線の岩舟JCT～栃木IC間は、東北道と北関東道からの合流で混雑していた区間です。今回、新たに約5kmの登坂車線を設置しましたので、今後は登坂車線を有効にご利用いただき、「**混雑時は左側車線を走行**」を合言葉に、北関東道からゆとりをもって東北道に合流してください。渋滞のない帰省や日光などへの旅行をお楽しみいただけるよう、サービスエリア・パーキングエリアなどに設置しているポスターで詳細にご案内しております！

長きにわたり工事による交通規制にご協力いただき、誠にありがとうございました！



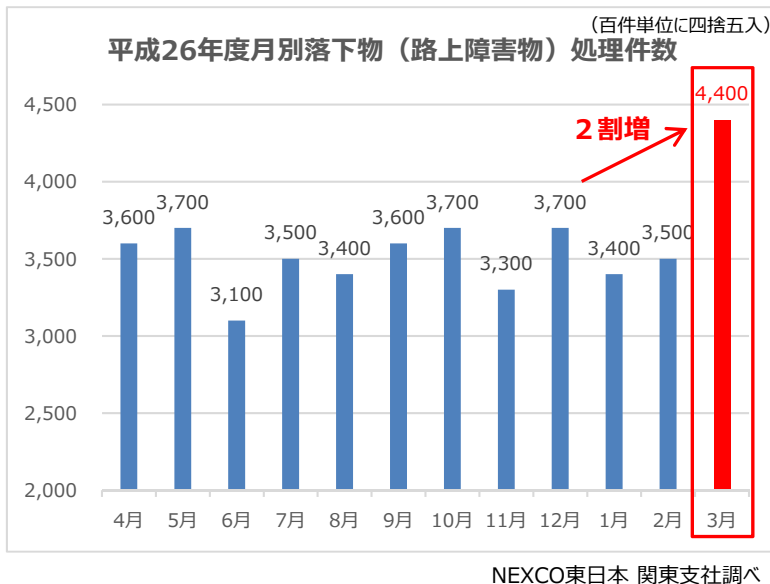
■氏名：岡村豊茂
(おかむら とよしげ)

■出身：北海道苫小牧市

■所属：宇都宮管理事務所
改良担当課長

第4回：高速道路の豆知識 ～落下物編～

いつも何気なく利用している高速道路ですが、意外と知られていないことが多くあります。このコラムでは、高速道路の豆知識をご紹介します、普段のドライブに少し役立つような情報をお届けしていきます。



4月からはじまる新生活に向け、3月は引越しが多くなります。このシーズンに高速道路で増加するものといえば、「**落下物**」です。

月別の落下物処理件数（左図参照）を見ると、平均約3,600件ですが**3月は約4,400件**となり、通常月より2割以上も落下物が増加しており、年間でも**最も落下物が多くなる月**です。

落下物は重大事故の原因になり、落下物により事故が発生した場合、落とし主の責任が問われることがあります。出発前の積み荷の点検に加え、途中の休憩施設でも再点検の徹底をお願いします。



高速道路を走行中に落下物を発見したら、**道路緊急ダイヤル「#9910」**に通報をお願いします。固定電話（NTT）、携帯電話などからダイヤルが可能です。また、料金所の係員や最寄の休憩施設の非常電話からの通報も可能です。

※運転中の携帯電話等の使用は道路交通法により禁止されております。携帯電話等による通報は必ず同乗者の方からかけて頂くか、休憩施設など安全な場所に移動・停車しておかけください。

編集後記

平素よりニュースレターをご覧いただきありがとうございます。さて、4月から新しい環境で仕事や生活を始める方も多いかと存じます。4月に入ってから朝晩は“寒暖の差”に注意が必要です。どうか体調管理に十分ご注意ください。 広報課 戸部

«当ニュースレターに関するお問い合わせ»

NEXCO東日本 関東支社 広報課 TEL:048-631-0222 (報道専用) P.5